

分野:基礎病態学

主科目 副科目	国際感染症・危機管理学 Health protection	DM_1207	区分	選択必修	授業形態	演習 (講義・実習含む)
------------	----------------------------------	---------	----	------	------	-----------------

担当	教授	准教授	講師	助教	客員教授・その他
板橋	◎河内 正治 (ADC)	鈴木 章一 (医療共通)	菅又 龍一 (医療共通)		伊藤 吹夕 (研究助手) 小林 富美恵 (非常勤講師)
—					
—					

	国際感染症学・危機管理学Ⅰ (1年次)				国際感染症学・危機管理学Ⅱ (2年次)				国際感染症学・危機管理学Ⅲ (3年次)			
	単位	4単位	配当年次	1年・通年	単位	4単位	配当年次	2年・通年	単位	4単位	配当年次	3年・通年
概要	<p>【講義】 危機管理の現状と対策研究:基礎編(1) 「危機管理と防災」 特別講義(1)「世界に羽ばたく医療人」 (アフリカの医療で活躍する日本人医師) 危機管理の現状と対策研究:基礎編(2) 「シミュレーションの有用性:災害、パンデミックインフルエンザを想定したシミュレーション」 特別講義(2)「世界に羽ばたく医療人」 英語によるグループディスカッション</p> <p>【演習】 国際感染症および危機管理の3カテゴリー 研究方法立案能力を養う。</p> <p>【実習】 バイオセーフティの実際、ウイルスの検出技術</p>				<p>【講義】 国際感染症ーパンデミック:WHO、米国CDC、国立感染研の役割 「感染防御と遺伝子治療」 大規模自然災害、バイオテロ、事故、事業継続 「天然痘撲滅宣言とバイオテロ」 アジア諸国における感染症の現状「各国の事例を参考にして」</p> <p>【演習】 健康事象に対するコンサルテーションに対応できるように習得する。 細菌の検出技術、バイオセーフティの実際</p>				<p>【講義】 アジア諸国における危機管理の現状 国際的視野にたった感染症の現状 特別講義(1)「世界に羽ばたく医療人」 英語によるグループディスカッション</p> <p>【演習】 国際感染症および危機管理において指導的役割を果たすことができる能力を身につける。</p> <p>【実習】 感染症シミュレーション アジアの感染症の実態の理解</p>			
到達目標	<p>① 与えられたプロジェクト研究の一員として、国際感染症および危機管理の3カテゴリー(大規模自然災害、事故(医療を含む)、テロなど)の危機発生の健康事象に対して、その研究方法を立案できる。 ② 研究に必要な調査・実験等を適正に遂行し、必要な情報を得ることができる。 ③国際的観点にたった医療人を目指す。</p>				<p>① 研究によって得られたデータに基づき、必要かつ十分な考察を加える事ができる。 ② 研究内容を論文ならびに口頭で発表することができる。 ③ 研究グループの一員として主導的役割を果たし、後進の指導を行うことができる。 ④国際的観点にたった医療人を目指す。</p>				<p>① 国際感染症および危機管理における健康事象に対するコンサルテーションに対応できる。 ② 国際感染症および危機管理において指導的役割を果たすことができる。 ③ 国際的な研究交流ができる。 ④国際的観点にたった医療人を目指す。</p>			
事前事後学修	<p>実際に国際社会で起こっている感染症に関心と理解を深める。 1回の授業に対して、予習・復習それぞれ30分程度が必要である。</p>				<p>実際に国際社会で起こっている感染症に関心と理解を深める。 1回の授業に対して、予習・復習それぞれ30分程度が必要である。</p>				<p>実際に国際社会で起こっている感染症に関心と理解を深める。 グローバルに公開されているUp-To-Dateの資料を集収しておく。</p>			
評価方法	<p>受講態度 20% (発表、課題提出、リアクションペーパー) レポート 80%</p>				<p>受講態度 20% (発表、課題提出、リアクションペーパー) レポート 80%</p>				<p>受講態度 20% (発表、課題提出、リアクションペーパー) レポート 80%</p>			

■主な演習(講義・実習含む)

	国際感染症学・危機管理学Ⅰ (1年次)	国際感染症学・危機管理学Ⅱ (2年次)	国際感染症学・危機管理学Ⅲ (3年次)
板橋	曜日 9 : 00 ~ 17 : 00 国際感染症および危機管理	曜日 9 : 00 ~ 17 : 00 国際感染症および危機管理	曜日 9 : 00 ~ 17 : 00 国際感染症および危機管理
	曜日 9 : 00 ~ 17 : 00 アジア諸国での実習・研修	曜日 9 : 00 ~ 17 : 00 アジア諸国での実習・研修	曜日 9 : 00 ~ 17 : 00 アジア諸国での実習・研修
	曜日 9 : 00 ~ 17 : 00 国際感染症の研究	曜日 9 : 00 ~ 17 : 00 国際感染症の研究	曜日 9 : 00 ~ 17 : 00 国際感染症の研究
	曜日 : ~ :	曜日 : ~ :	曜日 : ~ :
-	曜日 : ~ :	曜日 : ~ :	曜日 : ~ :
	曜日 : ~ :	曜日 : ~ :	曜日 : ~ :
	曜日 : ~ :	曜日 : ~ :	曜日 : ~ :

教科書・参考書

国立感染研究所(NIID)、国立国際医療研究センター(NCGM)、世界保健機構(WHO)および米国NIHとCDCのホームページ掲載の報告書・文献、ADC Letter

その他履修上の注意事項

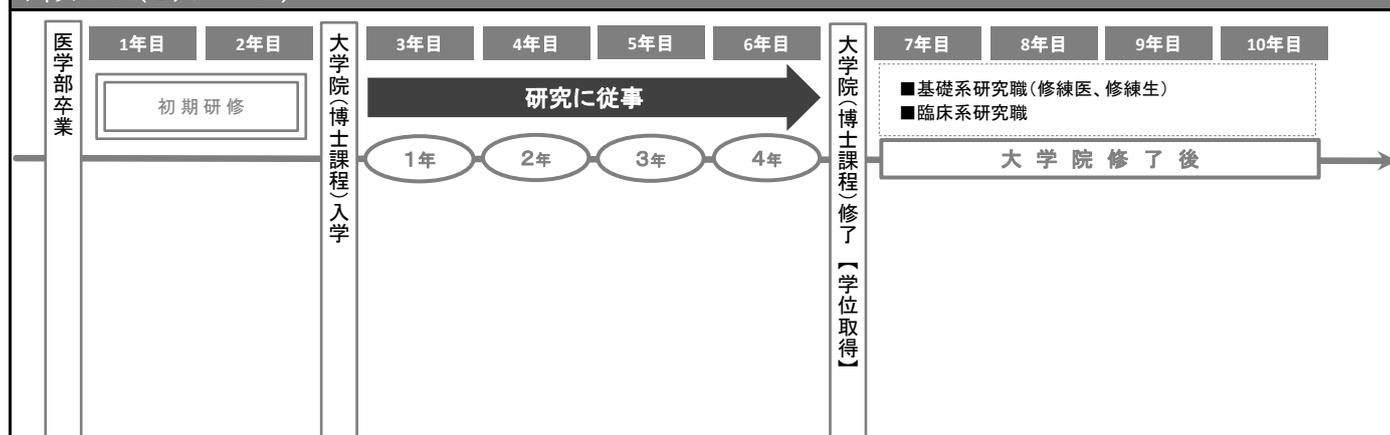
国際交流を通じて、国際感染症の国際的知見を深め、国際的視野に基づく、医療研究者をめざす。試験やレポート等に対し、講義の中での解説等のフィードバックを行う。

この科目と学位授与方針との関連をカリキュラムマップを参照し理解すること。

関連科目	副科目	感染免疫病態防御学、生体防御感染症学、公衆衛生医学、呼吸器・アレルギー学
	共通科目	国際感染症・危機管理学特論、感染症学特論

関連する専門医資格

キャリアパス(モデルコース)



※社会人枠のキャリアパスについては各講座にお問い合わせください。